

機械・精密システム工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	Design and Dynamics Conference 2016（日本機械学会）
演題名	積層タイプの極細繊維材の吸音率予測手法の開発
発表者	○黒沢良夫, 尾崎哲也, 武藤幸一, 山下剛
内容	自動車用の吸音材料として繊維径が1/数 μm ～数 μm のナノ繊維が検討されている。一般的に繊維径が細いほど吸音性能が良いが、繊維が細くなると剛性が小さくなって潰れてしまうため、ある程度繊維径のある繊維材と何層かに積層させて製品化することを検討している。今回は繊維径・繊維密度・厚さ・目付から吸音率を予測する計算手法を開発した。伝達マトリックス法を用いた予測手法と、実験計測結果と本手法による計算結果の比較を紹介する。